



学園記念ホール
スタンドグラス



Information From

Nichi-On

創立101周年

Since 1903

The Campus News

- キャンパス ニュース -

学校法人三浦学園 日本音楽学校 ・ 学生向情報

7・8月号

2004 第100号

編集発行 学園事務局

7月～10月の行事予定

幼児教育科(保育士コース/保育士・幼稚園教員コース)

1年生

- 7月7日(水) 通年実習開始(保)
- 9日(金) 教養講座「オーストラリアと日本の幼児教育探求」
- 16日(金) 夏期休業前授業終了
- 17日(土)～8月31日(火) 夏期休業期間
- 19日(月) 海の日(休校)
- 9月1日(水) 夏期休業後授業開始
- 13日(月)～17日(金) 前期試験
- 20日(月) 敬老の日(休校)
- 21日(火)～30日(木) 追・再試期間
- 23日(木) 秋分の日(休校)
- 30日(火) 前期授業終了
- 10月1日(金) 開校記念日(休校)
- 11日(月) 体育の日(休校)
- 13日(水) 後期授業開始

2年生

- 7月9日(金) 公立受験用就職模擬試験
- 13日(火) 夏期休業前授業終了
- 14日(水)～7月27日(火) 施設実習(保幼)
- 17日(土)～8月30日(月) 夏期休業期間
- 19日(月) 海の日(休校)
- 21日(水)～7月31日(土) 児童館実習(保)
- 8月31日(火) 夏期休業後授業開始(月曜授業代替日)
- 9月20日(月) 敬老の日(休校)
- 23日(木) 秋分の日(休校)
- 24日(金)～30日(木) 前期試験
- 10月1日(金) 開校記念日(休校)
- 4日(月)～8日(金) 追・再試期間
- 8日(金) 前期授業終了
- 11日(月) 体育の日(休校)
- 13日(水) 後期授業開始

8月8日(日)～15日(日)は事務局閉館となります。

- 行事予定は「追加・変更」になることがありますので、校内掲示板等に注意してください。 -

夏休みの過ごし方について

専任 亀井 哲宏

いつもそうでしたが、夏休み前になると「先生」と呼ばれる人々が「夏休みの過ごし方」を話します。聞かされる方だった僕が話す側になるなど、あの頃は夢にも思っていないものでした。あらためて考えると不思議なもので、恥ずかしいものです。たとえば、お盆過ぎの塾や予備校からの夕方の帰り道、ヒグラシの声に振り向くと坂の上にはマーマレード色に染まった入道雲と空があって、ちょっとひんやりした風に百日紅の花が揺れていたりと、宿題も終わっていないし、やりたかったこともしていないというのに、「ああ、明日は何をして遊ぼうか」と感じてしまうくらいでしたから。

僕たちが先生から聞かされた「夏休みの過ごし方」は、健康や安全に気をつけること、勉強の足りないところを補うこと、夏を楽しむこと、と3つくらいにまとめられます。

これまで何回も繰り返し聞かされてきたでしょうが、いずれは「先生」と呼ばれる立場に就くのですから、自分にとっての～とは具体的にどういうことを考え、それを行いましょ。くどいけれど、行っておくことが大切です。さもなければ、今の僕のように、自己矛盾に胸を痛めながら子どもたちに「夏休みの過ごし方」を話すはめになります。

こんな僕ですが、皆さんに4番目を語らなければなりません。それは、就職に有利なことをする、です。例えば、自分が就きたいと思う現場でアルバイトやボランティアをし、子どもと接するために必要な力を高め、人とのつながりを作ることです。また、関連のある資格の取得を目指すのもいいでしょう。



例えば、「ヘルパー2級」は持っている損はないと思いますし、自動車の免許もそうです。あるいは得意ワザを身につけるために、各種の「講習会」や「研修会」に参加してはどうでしょうか。これ以上書くと、ただでさえお説教じみた文章がますます「ウザック」になるのでこら辺で止めますが、お説教したくなる気持ちは結局のところ、自分の後悔にもとづくものなんだなあとの文章を書きながら思った次第です。

こうはなりませんようにと、これまたお節介ながらも。それでは、お互いに可能なかぎり夏を楽しみましょう。

2005 日音オーストラリア研修旅行 ～ 参加者募集中 ～

今年度の海外研修旅行は、昨年度に引き続きオーストラリアに決定しました。

訪問先はメルボルンとシドニーの2都市で現地の保育園や幼稚園で子供たちと一緒に歌ったり、遊んだりする実習を体験する研修とあわせて観光も予定しています。

- ・訪問予定地：メルボルン・シドニー
- ・研修期間：2005年3月12日(土)-3月18日(金) 7日間
- ・参加費用：194,000円
- 旅行取扱：日本旅行

また、1年生を対象に7月9日(金)に「オーストラリアと日本の幼児教育探求」の教養講座を予定しています。研修旅行のビデオ上映や参加者の体験発表、オーストラリアの子供たちの前で実際に行った手遊びや折り紙のプレゼンテーションの発表もあります。



学業成績・人物ともに優秀な学生を奨学生として同研修旅行に派遣します。(詳細は9月に発表します。)

日本音楽学校研究紀要(第5号)発行

6月1日付で研究紀要第5号が発行され、下記の先生方の論文が掲載されています。図書館にも収められていますので、ぜひお読みください。

論 文 タ イ ト ル	執 筆 者
・本学学生の運動・健康に関する調査	穠田 みづほ
・幼児の自己表現を保育者の感性と創造性から探る	浦崎 まり子
・保育士・幼稚園教諭養成の造形授業における、可塑性のある題材設定と映像を使用した説明の関連性について - ローラー絵をとおして -	桜井 剛
・保育における歌唱の意義と歌唱教材選択に関する研究	三小田 美稲子
・幼児教育科専門学校生における教育実習前後の保育者効力感と自己決定動機づけとの関係	杉本 信
・保育者養成校におけるピアノ指導に関する一考察 - 本学ピアノグレード制の分析を通して -	陸路 和佳
・欧米児童図書賞の歴史的背景と受賞作品にみる子どものために価値ある絵本の探求	諸井 泰子
・ドラマ教育におけるウォーミングアップとしてのエクササイズの種類	山本 直樹

平成17年度 入学説明会

来年度の入学説明会が右記の日程で行なわれます。皆さんの後輩に参加をお勧め下さい。

- ・7月10日(土) 14:00～ 入学説明・体験入学
- ・8月7日(土) 14:00～ 入学説明・体験入学
- ・9月11日(土) 14:00～ 入学説明・体験入学
- ・10月16日(土) 14:00～ 入学説明・体験入学